

# ◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「山田」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	22,991,437円	/	24,725,806円	コロナ禍で例年通りの活動ができなかったため、活動費に関わる収支が少なくなった。(差額については、おやつ代等対応)	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子ども達の自律自立を支援する。
施設HPアドレス	<a href="https://www.omi-suginoko.ed.jp">https://www.omi-suginoko.ed.jp</a>		2年目					
指定管理者名	社会福祉法人淡海すぎのこ会		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成11年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

## ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
<b>令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b> ・ひとり一人の児童が支援員の見守りのもと、集団生活の中で互いに協力したり助け合ったりしながら、健やかに成長できる環境を整える。 ・保護者及び小学校との連携を大切にしながら、児童の成長を支援する。		<b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b> 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
<b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b> ・コロナ禍の中で、4、5月の登所人数は少なく、また、接触をできるだけ避ける活動となったため、例年のように高学年と低学年がともに活動することが厳しかった。しかし、年間を通して清掃をこまめに行ったり、消毒薬を設置することで登所する児童には落ち着いた環境の中で衛生的に安心できる環境で過ごせた。 ・夏季の間、例年、施設外での活動も行って児童に社会経験をする機会を持つことができていたが、コロナのため、外出することができなかった。しかし、制限のある環境の中で、自分の体を守ることを意識づけたり、遊びを工夫することはできた。		<b>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</b> (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。  (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	新型コロナウイルス感染症の影響で長期にテレワークとなったり、仕事を辞めたりする保護者があり、在籍人数が減った。職員も健康管理の把握等のため、アルバイトを断る状況であった。その中で、安全な職員配置はできていた。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。人手の少ない中、人員配置も工夫され適正に運営された。研修にも積極的に参加され、資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くとともに、児童の在籍人数も戻りつつあり、児童も職員も安全対策を続けながら、運営することができていた。しかし、年間を通して在籍児童数が定員の100名に達することはなく、見直しが必要ではないかと思われる。職員1名が転居のため退職したが、その後の採用が難しい。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。
☆☆☆	☆☆☆			

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	在籍人数が少ない期間は、その環境にともなってゆったりと過ごせるようにした。個人情報、鍵のかかる書棚にて管理。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、保護者の理解を得ながら工夫されイベントを実施された。コロナ対策としてこまめな消毒作業も実施されていた。個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	在籍児童が新型コロナウイルス感染症に関わる不安を感じる事が無いように安心して登所できるような配慮をしてきた。個人情報は、鍵のかかる書棚にて保管。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、保護者の理解を得ながら工夫されイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。食育の研修にも参加され、保育の充実を図られた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布で、次月の行事予定やお知らせを保護者に伝えている。また、個別の相談は、保護者からの申出により適時対応。	上半期評価	毎月のおたよりや送迎時に児童の普段の様子を伝えられている。イレギュラー等発生すれば、送迎時に保護者に報告されている。保護者の要望を汲み取り保育を実施されている。おたよりを活用し、保育内容や普段の様子の周知に更に努められたい。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりの配布で、次月の行事予定やお知らせを保護者に伝えている。また、個別の相談は、保護者からの申出により適時対応。	下半期評価	概ね保護者への連絡・情報共有は出来ている。怪我の際は必ず保護者に連絡しており、保護者からの信頼も厚い。保護者からの相談事にも親身になりすぐに対応されている。おたよりを活用し、保育内容や普段の様子の周知に更に努められたい。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	点検表により、点検を行ない、適時、修繕を行っている。施設の老朽化による修繕が必要と思われる箇所については、市と連携。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。避難訓練についても毎月バリエーションを変え実施されていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	点検表により、点検を行ない、適時、修繕を行っている。施設の老朽化による修繕が必要と思われる箇所については、市と連携。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。避難訓練についても毎月バリエーションを変え実施されていた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			